

## R6 始業式 校長講話

ようやく穏やかな陽気が訪れ、桜の開花が待ち遠しい4月を迎えました。本日より、令和6年度がスタートします。気持ちあらたにまた1年を、希望を持って過ごしましょう。

3月の終業式では「夢」について、大人が夢を追う姿の話をしました。本日は、皆さん自身の「夢」や「生きる」ということについて、何かのきっかけになればと第2弾としてお話をしようと思います。

何か新しいことに挑戦したり、希望を持つことに、その時期や時間に早い遅いは関係ないと考えます。ようは、その出会いのチャンスを見過ごさないように、過ごしている時間すべてが、チャンスだと思って日々を大切に過ごすことが重要であると、皆さんよりたくさん生きてきた先輩として思うところがあります。

1963年、アメリカで人種差別と闘ったキング牧師の有名な演説があります。演説の後半、キング牧師は「I have a dream」と語りだしました。「私には夢がある。私の幼い4人の子供たちが、肌の色によってでなく、人格そのもので評価してもらえる国に住むということだ」。黒人差別が色濃く残っていた当時のアメリカではだれもが実現不可能と思った夢でした。しかし、彼は弾圧を受けながらも非暴力の闘いを続けてノーベル平和賞を受賞し、その後、人種差別も撤廃に向かっていったのです。志半ばで凶弾に倒れた時、世界中がその早すぎる死を悼みました。

「I have a dream」今、皆さんは、それをどんな言葉で語るでしょうか。

私たちは恵まれた時代、恵まれた場所で生きていますが、広く社会を見渡せば、立ち向かうべき大きな課題もあります。そして私たち大人も含め、今という現状から逃げることはできません。誰かが立ち上がらなければ、いつまでも幸福で平和な社会にはなりません。

長野県は昨年、第4次教育振興基本計画を発表し、その中で、「【好き】をとことん追究する【探究県 ながの】」を謳っています。問を持ちながら、物事を探究することは学びの基本でもあります。そして、探究の時間においては、ぜひ皆さんの「好き」を「問い」に変換し、とことん追究してほしいとも願います。私たち大人の高校時代に、「探究の時間」というものはありませんでしたし、学びというものは暗記が中心の時代でもありました。うらやましくも思います。これから生きる皆さんには、皆さんの想像力や若い視点で、社会を変える一手を投じてほしいのです。大地震の発生をあと5分はやく検知するシステムをぜひ開発してください。難民問題を平和的に解決する国際法や国際機関をぜひ作り出してください、無限に広がる宇宙のなぞをぜひ解明してください、そして、地球上で人間同士が争うことがどんなにつまらないことかを実証してください・・・

大人が皆さんに託す願いは、無限にあります。そんなの、無理だよ と考える人も多いと思いますが、皆さんが生まれた 16 年、17 年前、AI のこれだけの進歩や、チャット GTP の誕生、自動車がほんとうに自動走行する時代がくること、ドラえもん翻訳こんにゃくが、実現することを想像していたでしょうか。それを実現したのは、世の中に疑問を呈し、夢を形にしたいという志を持った人間なのです。そして、その開発の根源には、他者に対する「愛」があること、その「愛」を身に付けた時にこそ、人間はその生きた意味を感じることができるのだとも思っています。

学校での学びには、人としての成長があります。そして一つ一つの事柄に「意味」があります。今年度も、そんなことを心の隅に、やってくるチャンスは成長への道筋と捉え、学習に、探究活動に、部活動・生徒会活動に、生き生きと取り組んで欲しいと願います。

明日の入学式で、281 名の新入生を迎え、学校はまた、華やかな色彩を持ってスタートします。

苦情をいただくこともありますので、特に自転車のマナー、通学時の電車でのマナー、歩行のマナー、人にぶつかってしまったりしたとき、ごめんなさい、ありがとうございました の挨拶ができる。他者に対する愛を持って社会の一員としての自覚も身に付けてほしいです。どうぞ安全に健康に、今年度も、蟻ヶ崎高校で学ぶ生徒としての誇りと自覚をもって過ごしていきましょう。